

# 令和2年(2020)5月 入域観光客数概況

4万4,000人  
対前年(R1)同月比 -79万900人、-94.7%  
～減少数、減少率ともに過去最大～

## 入域状況

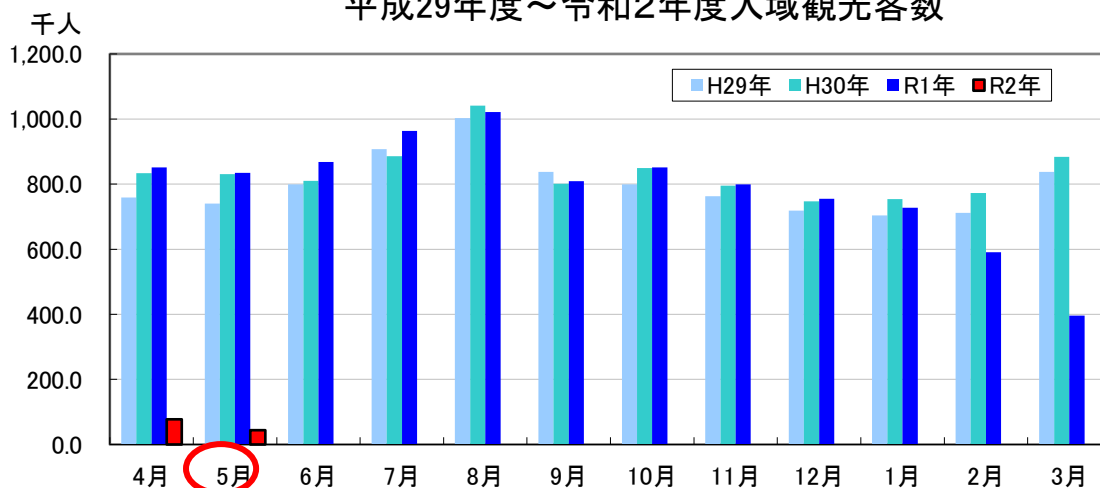
入域観光客数(令和元年度との比較) ※外国客については、乗務員等を**含む**

| 区分  | R2年度     | R1年度      | 増減数        | 増減率     | 構成比    |
|-----|----------|-----------|------------|---------|--------|
| 国内客 | 44,000 人 | 566,500 人 | △ 522,500人 | △ 92.2% | 100.0% |
| 外国客 | 0 人      | 268,400 人 | △ 268,400人 | 皆減      | 0.0%   |
| 合計  | 44,000 人 | 834,900 人 | △ 790,900人 | △ 94.7% | 100.0% |

【参考】入域観光客数(令和元年度との比較) ※外国客については、乗務員等を**除く**

| 区分  | R2年度     | R1年度      | 増減数        | 増減率     | 構成比    |
|-----|----------|-----------|------------|---------|--------|
| 国内客 | 44,000 人 | 566,500 人 | △ 522,500人 | △ 92.2% | 100.0% |
| 外国客 | 0 人      | 234,900 人 | △ 234,900人 | 皆減      | 0.0%   |
| 合計  | 44,000 人 | 801,400 人 | △ 757,400人 | △ 94.5% | 100.0% |

平成29年度～令和2年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

5月は、航空便の運休・減便に加えて、4月7日以降、国による緊急事態宣言が行われ、不要不急の旅行自粛要請が行われたこと、また、ゴールデンウィークを含む期間、沖縄県知事からも来県自粛を呼びかけたことなどから、前年同月を大きく下回った。

6月は、都道府県をまたぐ観光振興の取り組みにより、一定の回復が期待されるものの、航空便の運休・減便が継続されていることなどから、厳しい状況が続くと予想される。

## 外国客 入域状況

5月は、新型コロナウイルス感染症の拡大の防止の観点から、台湾、中国、香港、韓国などを対象に国による厳しい入国制限措置が継続されたことなどから、皆減となった。

6月は、国による入国制限措置、航空便の運休やクルーズ船の運航停止が引き続き見込まれることなどから、厳しい状況が続くと予想される。

## 国内客 地域別入域状況

| 区分   | R2年度     | R1年度      | 増減数        | 増減率     | 構成比    |
|------|----------|-----------|------------|---------|--------|
| 東京方面 | 27,300 人 | 253,300 人 | △ 226,000人 | △ 89.2% | 62.0%  |
| 関西方面 | 7,400 人  | 131,300 人 | △ 123,900人 | △ 94.4% | 16.8%  |
| 福岡方面 | 5,200 人  | 69,100 人  | △ 63,900人  | △ 92.5% | 11.8%  |
| 名古屋  | 2,100 人  | 47,700 人  | △ 45,600人  | △ 95.6% | 4.8%   |
| その他  | 2,000 人  | 65,100 人  | △ 63,100人  | △ 96.9% | 4.5%   |
| 合計   | 44,000 人 | 566,500 人 | △ 522,500人 | △ 92.2% | 100.0% |

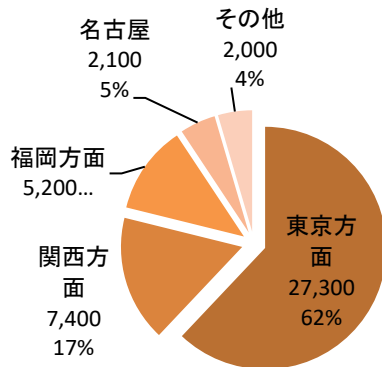
※国内海路客200人を含む(鹿児島200人)

## 外国客 国籍別入域状況

増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

| 区分     | R2年度     | R2年度     | R1年度      | 増減数        | 増減率 | 構成比 |
|--------|----------|----------|-----------|------------|-----|-----|
|        | (乗務員等含む) | (乗務員等除く) | (乗務員等含む)  |            |     |     |
| 台湾     | 0 人      | 0 人      | 94,900 人  | △ 94,900人  | 皆減  | N/A |
| 韓国     | 0 人      | 0 人      | 45,600 人  | △ 45,600人  | 皆減  | N/A |
| 中国本土   | 0 人      | 0 人      | 49,700 人  | △ 49,700人  | 皆減  | N/A |
| 香港     | 0 人      | 0 人      | 22,100 人  | △ 22,100人  | 皆減  | N/A |
| アメリカ   | 0 人      | 0 人      | 3,300 人   | △ 3,300人   | 皆減  | N/A |
| タイ     | 0 人      | 0 人      | 2,600 人   | △ 2,600人   | 皆減  | N/A |
| シンガポール | 0 人      | 0 人      | 1,700 人   | △ 1,700人   | 皆減  | N/A |
| その他    | 0 人      | 0 人      | 48,500 人  | △ 48,500人  | 皆減  | N/A |
| 合計     | 0 人      | 0 人      | 268,400 人 | △ 268,400人 | 皆減  | N/A |

## 国内客の地域構成比



## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

| 区分     | 空路               |                  |     |     | 海路               |                  |     |     |
|--------|------------------|------------------|-----|-----|------------------|------------------|-----|-----|
|        | 観光客数<br>(乗務員等含む) | 観光客数<br>(乗務員等除く) | 増減率 | 構成比 | 観光客数<br>(乗務員等含む) | 観光客数<br>(乗務員等除く) | 増減率 | 構成比 |
| 台湾     | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A |
| 韓国     | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A |
| 中国本土   | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A |
| 香港     | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A |
| アメリカ   | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A |
| タイ     | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A |
| シンガポール | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A |
| その他    | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A |
| 合計     | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A | 0 人              | 0 人              | 皆減  | N/A |

## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

5月は、前年同月比89.2%減の27,300人で、主要方面別では最も減少率が低かった。航空便の運休・減便により、航空輸送の提供座席数は、前年同月比73.5%減、利用率は32.1%となり、前年同月を大きく下回った。

6月は、一部の航空路線で再開があるものの、他地域と比較して減便の影響が大きいことに加え、渡航自粛要請の解除が6月下旬になったことなどから、厳しい状況が続くと予想される。

### 大阪

5月は、前年同月比94.4%減の7,400人であった。航空便の運休・減便により、航空輸送の提供座席数は、前年同月比79.8%減、利用率は23.6%となり、前年同月を大きく下回った。

6月は、一部の航空路線で再開があるものの、航空便の運休・減便が継続されることなどから、厳しい状況が続くと予想される。

### 福岡

5月は、前年同月比92.5%減の5,200人であった。航空便の運休・減便により、航空輸送の提供座席数は、前年同月比82.0%減で、また、利用率は28.9%となり、前年同月を大きく下回った。

6月は、一部の航空路線で再開があるものの他地域と比較して減便の影響が大きいことに加え、渡航自粛要請の解除が6月下旬になったことなどから、厳しい状況が続くと予想される。

### 名古屋

5月は、前年同月比95.6%減の2,100人で、主要方面別では最も減少率が高かった。航空便の運休・減便により、航空輸送の提供座席数は、前年同月比78.2%減、利用率は15.5%となり、前年同月を大きく下回った。

6月は、一部の航空路線で再開があるものの、航空便の運休・減便が継続されることなどから、厳しい状況が続くと予想される。

### 台湾

5月は、台湾(台北、台中、高雄)－沖縄(那覇、石垣)4路線が全て運休になっていること、また、3月17日以降、日本への渡航警戒レベルが引き上げられていることに加え、日本では4月3日以降、台湾が上陸拒否の対象となっていることなどから、前年同月94,900人から皆減となった。

6月は、航空便の運休やクルーズ船の運航停止、日本への上陸拒否が引き続き見込まれることなどから、厳しい状況が続くと予想される。

### 韓国

5月は、韓国(ソウル、釜山、大邱)－那覇3路線が全て運休になっていること、日本において4月3日以降、韓国が上陸拒否の対象となっていることなどから、前年同月45,600人から皆減となった。

6月は、航空便の運航停止や日本への上陸拒否が引き続き見込まれることなどから、厳しい状況が続くと予想される。

### 中国本土

5月は、中国(上海、北京、天津、杭州、南京、重慶)－那覇6路線が全て運休になっていること、また、1月27日以降、団体ツアーなどの商品販売が中国政府により禁止されていることに加え、日本においても4月3日以降、中国が上陸拒否の対象となっていることなどから、前年同月の49,700人から皆減となった。

6月は、航空便の運休やクルーズ船の運航停止、日本への上陸拒否が引き続き見込まれることなどから、厳しい状況が続くと予想される。

### 香港

5月は、香港－沖縄(那覇、石垣、下地島)3路線が全て運休になっていること、また、3月17日以降、香港政府が海外への渡航レベルを引き上げ自粛を要請していることに加え、4月3日以降、香港が上陸拒否の対象となっていることから、前年同月の22,100人から皆減となった。

6月は、日本への上陸拒否の対象地域とされていること、また、航空便の運休やクルーズ船の運航停止が引き続き見込まれることなどから、厳しい状況が続くと予想される。